

▲火山活動によって生まれた洞爺湖と中島。風のない日は水面が大きな鏡となり、周囲の山々を写す。右奥には羊蹄山も見える

## 洞爺湖ビジターセンター&火山科学館が5月14日にオープン! 支笏洞爺国立公園ぐるっとドライブ

サミット開催決定で  
注目度上昇中!

# この夏は 洞爺で決まり!

**NEW!** 最大規模の広さで5月14日オープン!  
洞爺湖ビジターセンター&火山科学館

環境省が整備した、洞爺湖周辺地域の自然環境について、じっくり学べる施設。「実際にフィールドに出るための、ゲートウェイとして使ってください」と、スタッフの佐々木伸さん。

☎0142・75・255  
5 圏洞爺湖温泉14  
2の5 圏9:00~17  
:00 国入館料無料(火  
山科学館は大人6  
00円、子供300円)  
① 有回 <http://www.toyako-vc.jp/>



▲スタッフによる館内と金比羅火口散策路のガイドがある

2008年の「北海道洞爺湖サミット」開催など話題に事欠かない洞爺湖エリアだが、今年5月中旬に新スポットがお目見えした。洞爺湖の歴史や成り立ち、有珠山噴火についてを学べる「洞爺湖ビジターセンター」と「火山科学館」がそれ。リアルタイムの自然の様子や近郊施設の体験メニューも知ることができる。ここは、まさに自然そのものがミュージアムの洞爺湖エリアに親しみ、遊ぶための拠点施設です。ほかにも、今が旬の果物狩りやそこでしか食べられない、買えないものなど、楽しみがもりだくさん。この夏は洞爺湖ドライブへ、いざ出発!

取材・文/孫田二規子(OFFICE CATI) 撮影/松浦靖宏 ©/上田いさお(上田デザイン室) 編集/吉田慎吾 取材協力/環境省北海道地方環境事務所、洞爺湖町 写真協力/DCアーカイブス



▲入り口に入って、右側が「洞爺湖ビジターセンター」、左側が「火山科学館」。その日に洞爺湖周辺で体験できるメニューなどリアルタイムの情報提供も揃っている

今年は  
自然公園法制定  
50周年

国立公園や国定公園は、自然公園法によって各種の開発行為が規制され美しい自然景観が守られてきました。環境省では、これを機会に自然公園について広く知り、実際に自然公園を訪れて様々な自然体験をしてみよう、洞爺湖地域において記念ポスターの掲示と国立公園巡回写真展を開催しました。今後は洞爺湖ビジターセンターを中心に、各種イベントを開催する予定としています。自然公園法50周年HP ([http://www.env.go.jp/nature/np/law\\_50th/index.html](http://www.env.go.jp/nature/np/law_50th/index.html))。



北海道大学名誉教授、NPO環境防災総合政策研究機構理事 岡田 弘さん

有珠山の噴火予知などで活躍された火山学者の岡田弘さんが洞爺湖の魅力を語る!

「洞爺湖ビジターセンター」と「火山科学館」は、洞爺湖エリアの自然を楽しむためのコアセンターです。洞爺湖エリアは、約10万年間の火山活動が織りなす独特の自然美や魅力がたっぷり。主要国サミット控え、自然そのもの博物館(洞爺湖エコミュージアム)構想により、遊歩道や小公園など更なる整備が進むことでしょう。予備知識がないままでは、せっかくの魅力や見所に気づかず通り過ぎてしまい、もったいないですね。じっくり楽しみ味わうためのサポート施設をみんなで作り上げていきましょう。

北海道洞爺湖サミット

今回のサミットのコンセプトは「豊かな対話を実現する安全で静穏な環境」「近年の傾向に適合したコンパクトで効率的な開催」「環境重視の日本を世界にアピール」。北海道はサミットの主要な議題になるであろう「環境問題」を話し合う場として最適だと考えられており、世界にアピールする絶好の機会だ。

# 洞爺湖 ビジター センター Toyako Visitor Center

支笏洞爺国立公園のうち、主に洞爺湖周辺の自然環境や動植物について、パネルやジオラマ、「見て、触れる」展示物を通して解説。自然に親しむための情報が揃っている。スタッフも常駐しているので、わからないことや知りたいことは気軽に訊ねてみよう。

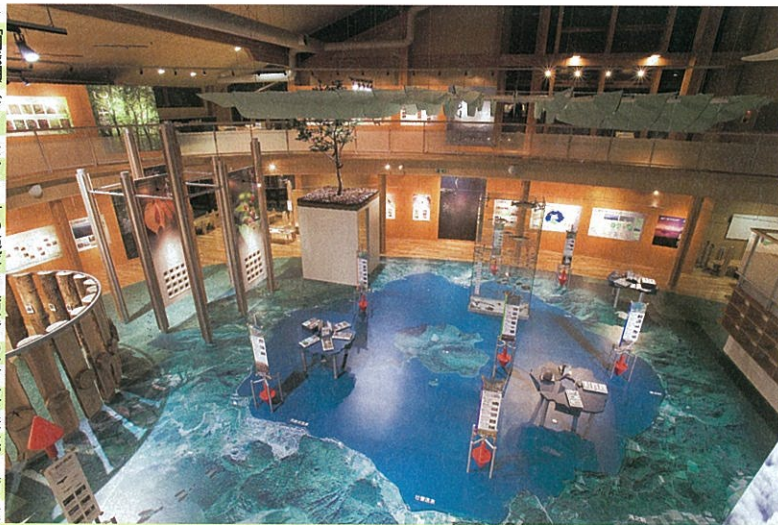
## パネルでお勉強 「森の標本箱」



▲「これがミズナラの葉か〜」なんて、樹木と葉の名前を簡単にお勉強できる!

樹木の写真と名前が記された回転式パネルをひっくり返すと、そこにはその樹木の葉の写真のアップ。ほかに「木の実」と「キノコ」バージョンもある。

▶「洞爺湖ビジターセンター」の施設は、階層の吹き抜け構造。1階の床には、2200m x 2400mの高さから写した洞爺湖の写真が



## 噴煙の迫力が伝わる 実写写真タワー

1977年の有珠山噴火時に、上空1万2000mまで噴き上がった噴煙の実写写真で作られた、高さ8mのグラフィックタワー。1200分の1の縮尺とはいえ、見上げてしまうほど迫力満点だ!

▶2階の天井近くまでそびえ立つグラフィックタワー。モクモクと立ち上る噴煙の驚異がヒシヒシと伝わる



## 調べものは 情報コーナーで

2Fの情報コーナーに設置されたパソコンではタッチパネルで洞爺湖周辺や有珠山の自然を調べられる。また、ライブラリーコーナーでは専門家が監修、セレクトした自然に関する書籍がズラリ。



▶PCにタッチして「洞爺湖の成り立ちや洞爺湖の動植物」をチェック。動植物の鳥類の項では、鳴き声が聞ける!

## 林床部の生態系が 学べる



土の中の生態系が学べるジオラマ。箱の中に入ると、土中に生息する虫の動きなどが、イラスト付きで解説されている。箱の上に立つ木は、防腐処理された本物。箱の中で天井を見上げると根が見えるしくみになっている。

◀実際に土の中に潜ったような気になる、「林床部生態系」ジオラマ。土中で虫はこんな動きをしていたのか…と感心することしばしば。箱の上に立つ木は本物。一層のリアリティを演出するエグジブの模型がかわいい!

## 木の違いを じっくり観察できる



洞爺湖周辺の森林に自生する代表的な樹木の実物標本。ハルニレ、キハダ、ミズナラ…など全13種類の木材とそれぞれの輪切りが並ぶ。樹皮や年輪の違いを観察できるほか、手で触れて木の質感などを確かめられる。

▲なかなか見ることのできない年輪をじっくり観察。触ってみると、「夏はひんやり、冬はあったか」な木の特性がよくわかる。木によって質感や肌触りが全然違うのには驚き!

## 食物連鎖を ジオラマで解説

落ち葉を食べるミミズ、そのミミズを食べるネズミ、そしてそれらを狙うタヌキ…。自然界における「食うもの、食われるもの」の図式を、剥製やバードカービングを使ってわかりやすく解説。

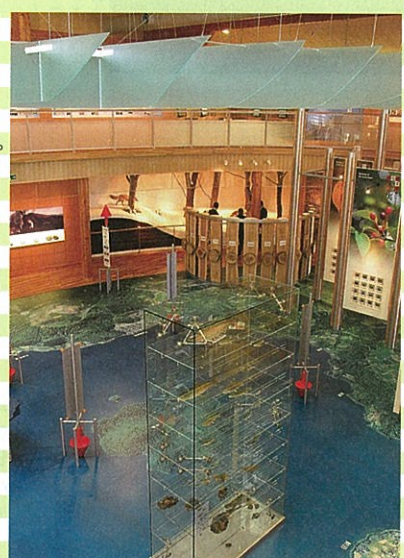
▶剥製とバードカービングは本物と見まごうほどリアル。ちなみに毛虫やゾウムシはフリーズドライで作った本物



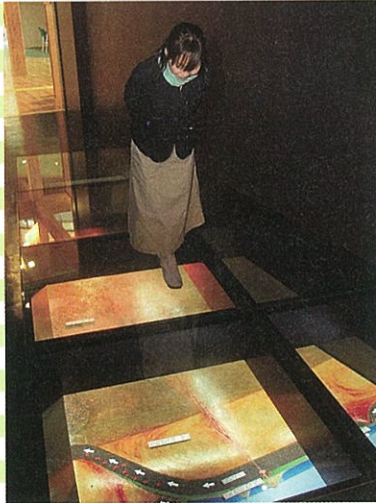
## 天井には洞爺湖スケルトンモデル

オブジェのようにも見える、吹き抜けの天井に吊されたそれ、実は洞爺湖のスケルトンモデル。普段は見ることのできない湖の底の形がよくわかる。

▶火山活動によって生まれたカルデラ湖・洞爺湖。スケルトンモデルで底の形をよく見てみると、盛り上がりつつある部分があったりして面白い!



## 入り口通路に床下展示



入り口にはユニークな床下展示。足もとのガラス板の下には、地中で行われるマグマの動きなどのジオラマが。火山の仕組みがわかりやすく解説されている。

◀地中におけるマグマの通り道などが、ひと目でわかるユニークな床下展示。思わず見入ってしまっ  
て、歩調がゆっくりに…



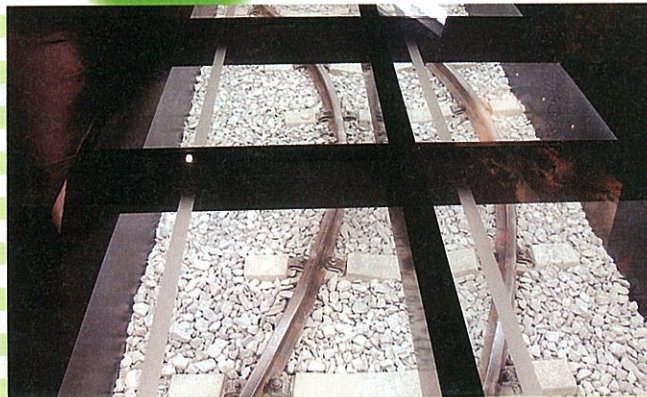
▲壁には噴煙や噴火災害などを写した大きなモノクロ写真がいっぱい。2000年の噴火の様子を、前兆現象から時系列で記したパネルもある

# 火山科学館

## Volcano Science Museum

「洞爺湖ビジターセンター」に併設して移転リニューアルした「火山科学館」。20年～50年ごとに繰り返す有珠山噴火の爪痕や歴史を、臨場感溢れる展示物で解説。噴火擬似体験コーナーやマルチビジョンシアターなど体験ブースも増えた。

## 地殻変動で歪曲した線路

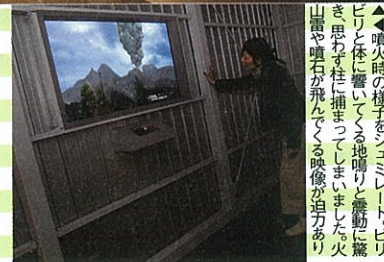


地中を走るマグマに地面が押され、その影響で歪んでしまったJR室蘭線の線路の一部。ほかに被災した自動車なども展示もされており、自然のエネルギーのすさまじさに驚かされる。

▲「こんなに堅くて丈夫なものが、どうして曲がるの!？」と、びっくり。2000年噴火の際、こうした地殻変動による道路の隆起災害は国道にも及んだ

## 臨場感たっぷりの噴火体感

1977年の有珠山噴火を再現したコーナー。噴火時に有珠山近郊の民家で起こったであろう振動や地鳴りを、映像と音を通して擬似体験できる。ラジオのニュースや住民の声なども流れ、まるでその現場にいるかのようなリアリティ!



▲噴火時の様子を見ながら、ビリーと体感していきながら地鳴りと振動に驚き思わず桂に捕まってしまう! 火山や噴火が飛んでくる映像が迫力あり

## 「助け合い」での避難所生活

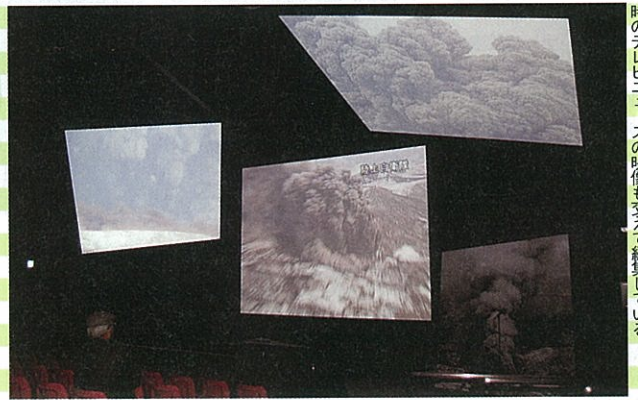


◀リニューアルを機に初お目見えしたマルチビジョン。上映時間は4分15秒。上

リニューアルに合わせて初登場したミラービジョンでは、事実に基づいた避難所生活の様子を上映。共同生活において大切なのは、助け合いの精神なのだと学べる。

## 2000年噴火の実写映像

220インチの大型スクリーンを変則的に設置したマルチビジョンシアター。角度も高さも異なるスクリーンに写し出されるのは、2000年の噴火の実写映像。全130席。30分おきに上映し、上映時間は13分。上映後には、実際にビジターセンター裏の金比羅火口散策路に出かけてみるのがおすすめ。噴火被災を受けたやすらぎの家、公営住宅、土石流で流された橋など、遺構の数々を間近に体感できる。



◀上映される映画は、以前の火山科学館のものとは違い、新作。噴火の歴史のほか、主に2000年噴火時の様子を当時のテレビニュースの映像も交えて編集している。



自然保護官補佐  
浅田唯衣さん  
自然が大好きな山女です。北海道の大自然の素晴らしさを、子供達に伝えていくため勉強中。

ココに注目して!

「カヌーに乗って湖面から眺める有珠山や中島は、湖畔から眺めるのとは違った顔をしています。洞爺湖は火山活動によってできたカルデラ湖。太古の歴史を感じながらカヌーに揺られ、その後は湯量豊富な洞爺湖周辺の温泉で疲れを癒してください」



自然保護官補佐  
加藤康大さん  
特技は登ったり、滑ったり、生き物に触ったりすること。自然保護に貢献できるような日々努力!

ココに注目して!

「洞爺湖に浮かぶ中島や月浦森林公園など、周辺にはトレッキングスポットがたくさん。噴火後の裸地に植物が芽吹き、森林となり、動物が住み始める…。私たち人間も、そんな生態系の環の中で生きていることを、感じてもらえればと思います」



環境省  
洞爺湖自然保護官事務所  
自然保護官  
鈴木祥之さん  
趣味は山歩き、スノーケリング、読書です。沖繩や富山での勤務を経て、昨年10月に洞爺湖へ。来年のサミット開催が決まり、世界の方々にお会いできるのを楽しみにしています。

ココに注目して!



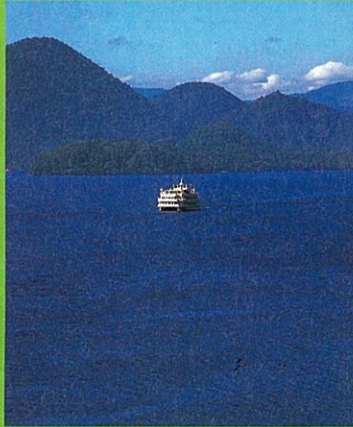
◀動植物などの観察を通して、洞爺湖周辺の魅力発見に努める自然保護官たち

「洞爺湖町、壮瞥町、豊浦町、伊達市で進めているエコミュージアム構想は、地域の自然や文化などの資源を新たに認識し、野外展示という形で活かしながら、より魅力的な地域を創っていくというものです。明治43年の火山活動によって温泉が湧出し、一大温泉地として栄えたように、この地域の人は噴火の度に復興と発展を繰り返しています。噴火遺構巡りで、そんな火山との共生の歴史も学んでほしいですね」

ビジターセンター「洞爺湖ビジターセンター」の1F奥にあるレクチャールーム(90席)では、洞爺湖の成り立ちや特徴について、また周辺の自然に関する情報を150インチのマルチビジョン映像で上映している。上映時間は約11分20秒。上空から撮影した洞爺湖や有珠山の様子がわかりやすく、楽しめる内容になっているので必見だ。

**MAP 1 洞爺湖森林博物館**

洞爺湖に浮かぶ中島にある博物館。洞爺湖を取り巻く豊かな自然の紹介、そしてこの地に生きる野生動物や野鳥についても写真、剥製を通して解説。☎0142-75-4400 洞爺湖大島 9:00~17:00 大人200円、子供100円 12月~3月



▲中島には遊覧船・エスポールに乗って渡る(船に乗っているときの様子・景色)。中島では森林散策も楽しめる

▲館内展示の「洞爺の動物たち」は森と湖の二景に分かれた大型ジオラマ。動物や鳥の鳴き声も聞ける展示物もあり、まるで森の中にいるみたい!

洞爺湖一周  
ぐるっとドライブ

洞爺湖エリアを実際に回ろう!

「洞爺湖ビジターセンター」と「火山科学館」で学んだあとは、実際にフィールドに出て自然や地域に親しもう。ここでは、洞爺湖畔に点在する自然スポットやグルメ、お土産どころをご紹介。見る場所によって表情を変える洞爺湖の様子も楽しみながら、車でぐるっとひとまわり!

**MAP 2 レストラン望羊蹄**

メニューは洋食が中心。特製ソースで仕上げたポークチャップや濃厚なソースのハンバーグがおいしい! ☎0142-75-2311 洞爺湖町洞爺湖温泉36の12 10:00~21:00 (12:30) 肉ハンバーグステーキセット(200g)2000円 肉不定 肉46回有



緑に包まれた洞爺湖は、とにもかくにもロケーションが最高です。湖の向こうにそびえ立つ羊蹄山も美しい。当店のテラスからは季節毎に咲き誇る花々が見えますよ。  
店長 塚八祥子さん



▲2006年に60周年を迎えた。「人に思いやり、味に思いやり」がモットーの老舗レストラン



▲湖のそばは近くに建ち、真実は砂浜。施設内には観光に使える「情報コーナー」もあるので、立ち寄ってみよう

**MAP 5 とうや・水の駅**

売店では地元産の新鮮な野菜や洞爺財田米を販売。洞爺湖サミット記念で発売された「サミット 紫蘇まんじゅう」もここで買える。2階には展望デッキも。☎0142-82-5277 洞爺湖町洞爺町100 9:00~18:00 肉なつぽし 5kg1900円 肉無(4~10月) 回有



財田地区は、川や山に囲まれた自然豊かで土壌のよい土地。野菜などの農産物がおいしいです。当施設でも取り扱っている洞爺財田米もぜひ味わってみてほしいですね。  
スタッフ 毛利 納 さん

**MAP 4 レイクヒル・ファーム**

自社牧場の牛から搾る新鮮な牛乳で作ったアイスクリームが評判。保存料を使わず、副原料のほとんどは自家農場産や地元産。☎0142-83-3376 洞爺湖町花和127 9:00~19:00 肉アイス 2種315円、ビーフシチュー1380円 肉不定 肉レストラン、ショップ各30 回有



▲空の青と草の緑が美しい! アイスを味わった後は、乳搾りなどの牧場作業体験、アイスクリュームやバター作り体験にチャレンジ!  
販売スタッフ 館山絵美さん

ここから眺められる広大な牧場と羊蹄山の組み合わせは絵になります。アイスクリームや自社牧場産の牛肉のビーフシチューなどと合わせて、お楽しみください!

**MAP 3 glass cafe gla\_gla**

洞爺湖を望む高台にあるガラス工房&カフェ。ガラス作家兼オーナー高臣大介さんの作品を展示販売しているほか、体験も随時受付。☎0142-75-3262 洞爺湖町月浦44 10:00~18:00 肉花止め1200円、気まぐれジュース400円 肉不定 肉20 回有



洞爺湖を一望するこの場所では、毎日の木々の香りや水の動きに癒されます。みなさんも当「ガラス喫茶」で、ガラスとお茶と景色をお供に、ゆったりとした時間をお過ごし下さい。

スタッフ 高臣大介さん

▲洞爺湖の水の動きにも似た、のびやかな曲線がきれいな高臣さんの作品。店内ではコーヒーやハーブティも楽しめる

ビジターセンター  
まだある見所!

「1977年噴火コーナー」など「見る」だけでなく「参加」するブースも揃えた「火山科学館」。そのひとつ「有珠山Q&A」は、3チームが参加できるクイズブース。画面に現れる問いに正解すると得点、間違うと減点。最後には各チームの得点が発表される。友達や家族と火山の知識を競ってみよう。

## MAP 7 洞爺財田自然体験ハウス



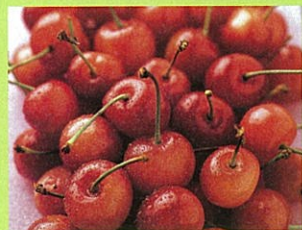
財田周辺の自然や動物を紹介する展示があるほか、湖や川、山や森を舞台にした自然体験プログラムが充実している。☎0142・82・5999 洞爺湖町財田3 図9:00~17:00 入館料無料 図⑧(⑨)の場合は翌日) 図有 <http://www18.ocn.ne.jp/~toya/>

◀水辺や湿地の自然観察などの自然体験プログラムの他、自然に関する情報も得られる



▲毎日、自然材料を用いた手作りクラフト教室を開催している

## MAP 10 そうべつ くだもの村



◀もぎたてのくだものは味も香りも格別！洞爺の自然が育んだ旬の味を楽しもう



洞爺湖は見の場所によって、表情が違います。昭和新山や中山峠方面からの道中など、さまざまなスポットがあるので、いろいろ回ってみて欲しいですね。日本一の絶景です！  
村長 阿野裕紀緒さん

くだもの狩りは、壮瞥町21戸の果樹園が集まった「くだもの村」で。6月下旬はイチゴ、7月~8月はサクランボが旬。サクランボは前半がサトニシキ、後半がナンヨウと、時期によって見た目も味も違う種類が楽しめる。☎0142・66・2333 洞爺湖町壮瞥町之町 ※図⑧は果樹園によって異なる

## MAP 6 とうや とれたて市



複数の地元農家が集まって、週末に開催する直売市。新鮮な野菜や味噌、シソジュースなどの加工品も。めずらしい野菜もたくさん販売される☎0142・89・3000 洞爺湖町香川9の1洞爺農業センターアグリ館とれた 図10月28日までの⑧⑨及び祝日の⑩ 入館料無料 図有

▲国道230号沿いに建つ「アグリ館 とれた」では、週末に農家が集まり直売が行われる。格安で新鮮な野菜がいろいろ！

大自然に育まれる野菜や果物、米がおいしいですね、洞爺はこれからの季節はサクランボやハーブ類、レタスや白菜など、種類が豊富に並び予定ですのでお楽しみに。とうや とれたて市会長 坂本正光さん

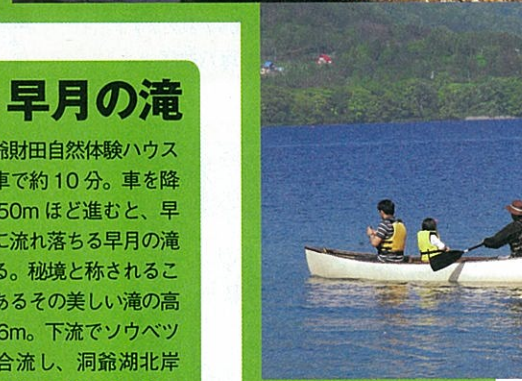
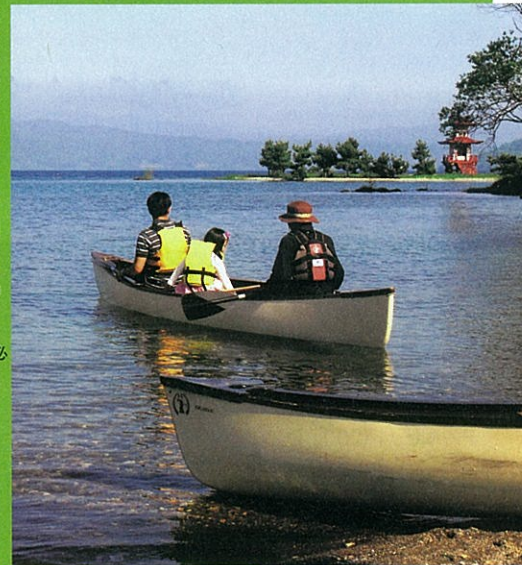
だから、洞爺が好き！



## MAP 8 カヌー体験(洞爺ガイドセンター)

洞爺湖カヌーを楽しむならここで。メニューは所要時間が30分の初心者向けから経験者向けまで3種類。いずれも信頼のおけるガイドのレクチャーで安心。☎0142・82・5002 洞爺湖町洞爺町402 図9:00~18:00 図カヌー体験1000円~

▶各ツアー参加は事前予約が必要。最低催行人数は2名~



▲カヌーのほかにも、トレッキング、クラフトやスノーシューイングを通して洞爺湖周辺の自然をガイドしてくれる

## MAP 9 早月の滝

洞爺財田自然体験ハウスから車で約10分。車を降りて50mほど進むと、早月川に流れ落ちる早月の滝がある。秘境と称されることもあるその美しい滝の高さは6m。下流でソウベツ川に合流し、洞爺湖北岸にそそぐ。☎0142・82・5131 (ネイバル洞爺) 洞爺湖町財田



▲小規模だが美しい早月の滝。行程にはジャリ道もあるので注意

## 第26回 洞爺湖ロングラン花火大会

今年で26回目を迎える、洞爺湖ロングラン花火大会。10月31日(水)までの毎日(昭和新山火まつり)の2日間を除く、20:45から20分程度、たくさんの花火が洞爺湖の夜空を飾る。温泉街のどこからでも眺めることができ、花火鑑賞船も毎夜出航している。☎0142・75・2446 (洞爺湖温泉観光協会)

▶打ち上げ花火や水中花火、スターマインなど、毎日約400発の花火が打ち上げられる。温泉宿の客室や露天風呂からも見ることができ、洞爺湖が特色に染まる様も美しい



花火大会や盆踊り、火まつり洞爺湖エリアが盛り上がる夏の必参加イベントはコレ！



ビジターセンター 図 [274種][84.7ヘクタール][179.9メートル][8.9×10の7乗立方メートル][12,000メートル]。この5つの数字は「洞爺湖ビジターセンター」の大きなパネルに記された数字。それぞれ、何の種類や面積、高さの数字かわかりますか？答えは実際に「洞爺湖ビジターセンター」まで行って、チェックしてみよう

**MAP 12 1977年火山遺構公園**

1977年の有珠山噴火災害により倒壊した建物を当時のまま保存、展示している公園。火山や自然災害についてを学べる、エコミュージアム(自然博物館)の大切なサテライト(地域資源)。☎0142-66-2121(壮警町役場) 函壮警町壮警温泉76 函入園料無料 困無 回有



▲火山活動の威力を肌で感じられる「1977年火山遺構公園」は、いわば野外博物館

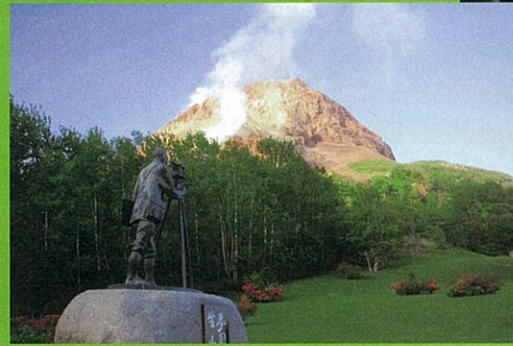
◀1万2000平方メートルに及ぶ広大な敷地には、1977年～82年の火山活動(地殻変動)で倒壊した病院施設が残されている

**MAP 11 昭和新山(三松正夫記念館)**

郵便局長を務めながら、昭和新山の定点観測を続けるなど有珠山噴火に一生を費やした三松正夫。記念館には彼による貴重な観察結果や資料などが展示されている。☎0142-75-2365 函壮警町昭和新山184の12 図8:00～17:00 函入館料大人300円、子供250円 困無 回有



▲昭和新山の誕生の過程を時系列で表にまとめた「ミマツダイヤグラム」も展示。ほかにも学術的に貴重な資料が揃っている



◀1944年～45年の火山活動で隆起した昭和新山。現在も尚、噴気をあげている

**MAP 14 有珠山 西山山麓火口 散策路**



2000年の有珠山噴火で倒壊した建物や地殻変動で変形した道路をそのまま残し、周辺を観察するための木道を整備。火口も間近に観察できる。☎0142-75-4400(洞爺湖町観光振興課) 図7:00～18:00 函入園料無料 困無 回有

▲かつての国道が地殻変動でこのような地形に変形。散策路の全長は2100m

▼今も噴気をあげる火口や地熱帯、噴火で隆起した町道や噴石で被災した建物などが点在

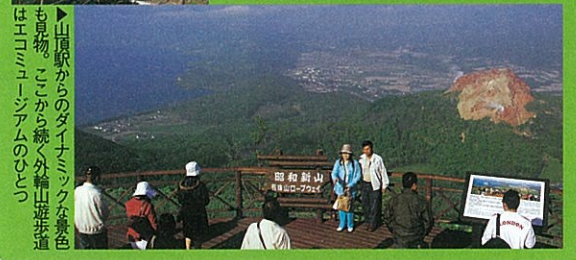


**MAP 15 有珠外輪山 展望台**

昭和新山や洞爺湖のみならず、羊蹄山や駒ヶ岳までも見渡せる絶景展望台。有珠山のロープウェイ山頂駅から続く有珠外輪山遊歩道、または有珠登山道から行くことができる。道中のロケーションもすばらしい。☎0142-66-2121(壮警町役場)



◀山頂駅から有珠外輪山展望台までは約2キロメートル。トレッキングの所要時間は往復で約2時間くらい



▶山頂からのダイナミックな景色も見物。ここから続く外輪山遊歩道はエコミュージアムの心臓

**MAP 13 わかさいも本舗 洞爺湖本店**



▲「わかさいも」をはじめ、「花小雪」など名菓が勢ぞろい。4月末に新登場した、洞爺湖産のじゃがいものクッキー「北海道じゃがッキー」も好評発売中

「わかさいも本舗」の総本店。1階ではわかさいもの天ぷら「いもてん」実演販売コーナーがあり、揚げたてが食べられるのはここだけ。☎0142-75-4111 函 洞爺湖町洞爺湖温泉144 図8:30～19:00 函わかさいも6個入り525円、噴火湾御前・桜1050円 困無 函 レストラン98 回有



だから、洞爺が好き!

洞爺湖の雄大な全景は眺めていると心が洗われるようです。当店2階のレストランや1階喫茶の窓から一望できるので、自慢の食事やスイーツと一緒に堪能ください。スタッフ 宮武理絵さん

**宿泊は洞爺湖温泉で！  
夏の黒毛和牛フェア  
期間限定で開催中！**

別企画である「宿の食事満足度アップ大作戦」では今回、とうや湖和牛を使用した「洞爺・有珠山 白黒(コロコロステーキ)+「白い氷羊羹」が食べられる全10施設を紹介しています。この機会にぜひ食べてみて!

詳しくは92Pへ  
をご覧ください。

**昭和新山火まつり**

昭和新山火まつりとは、昭和18年～20年の火山活動により生成した昭和新山の様子を、花火の音や光、色彩で再現するイベント。今年で46回目を迎える、壮警町の夏の風物詩。☎0142-73-2662(壮警町観光協会) 函壮警町昭和新山山麓駐車場 図8月25日(土)～26日(日)

▶真夏の夜の幻想的かつダイナミックな祭典として、長年親しまれている「昭和新山火まつり」。有珠山噴火をイメージする花火は迫力満点!



**洞爺湖温泉夏祭り**

洞爺湖温泉夏祭りは今年で2回目を迎える新顔イベント。期間中は毎日、檜の立つ主会場と縁日広場を開催。盆踊りも行われ、各ホテルで浴衣の貸出も(有料)。☎0142-75-2446(洞爺湖温泉観光協会) 函洞爺湖汽船本社前棧橋特設会場 図7月21日(土)～8月20日(月)